



入職した薬剤師が満足できる職場
各々のキャリアデザインを考える職場

一般財団法人竹田健康財団

竹田総合病院

薬剤部



TAKEDA general hospital Department of Pharmacy

科長挨拶



私たちと一緒に、患者中心のケアを追求し、 自己実現と患者の幸せを共に目指しませんか？

当院薬剤部では、患者にどのように寄り添うかを最も大切にしており、そのための研修を行っています。患者への共感、患者を想う自身の気持ち(心)を育てる事が必要であり、薬剤師はこの共感力を育て、患者の病気に向き合う力を向上させるためにどうすればよいのかを探ることが重要です。

さらに、薬剤師一人ひとりが自己実現を達成できるよう、専門性を深化させるためのキャリアパスを提供しています。新人薬剤師からベテランまで、各々のスキルや経験に合わせた独自のキャリア形成を支援し、定期的な研修や学会を通じて、自己成長を続けられるよう努めています。薬剤師が自分の可能性を最大限に引き出し、その才能を発揮できる職場を提供し、薬剤師の成長が患者の幸せに寄与すると信じています。

私たちは常に患者のために、最善の医療を提供することを目指しています。薬剤師の熱意が、患者の未来をより良いものにします。共に成長し、共に歩んでいきましょう。



薬剤科長
木本 真司



薬剤科長
齋藤 隆介

概要



病院概要

許可病床数

827床（一般 693床、精神科 134床）

診療科

30科

内科/リウマチ科/循環器内科/消化器内科
脳神経内科/呼吸器内科/呼吸器外科/小児科
外科/大腸・肛門外科/小児外科/内視鏡外科
整形外科/形成外科/脳神経外科/心臓血管外科
皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科
頭頸部外科/リハビリテーション科/精神科
放射線科/放射線治療科/麻酔科/歯科
病理診断科/緩和ケア内科

職員数 ※2025年4月

2,183名

指定・認定

地域がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域リハビリテーション広域支援センター
(財)日本医療機能評価機構認定施設
臨床研修指定病院
労災保険指定医療機関病院
結核予防法医療指定病院
福島DMAT指定病院

など

薬剤部概要

職員数 ※2025年10月

薬剤師	29名	調剤助手	29名
		事務員	1名

処方箋枚数 ※2024年度平均

外来院内	6枚/日
外来院外	424枚/日

外来院外処方率
98.5%

業務実績 ※2025年7月

薬剤管理指導算定	216件
抗悪性腫瘍薬調製	549件
薬剤師外来	509件

出身校

奥羽大	昭和大
東京薬科大	東京理科大
東北医科薬科大	新潟薬科大
日本薬科大	北陸大
星薬科大	明治薬科大
	など

実務実習生 受入人数

2021年度	7名
2022年度	7名
2023年度	7名
2024年度	8名

キャリア形成

キャリアイメージ



当院では、2024年度より薬剤師に**年俸制**を導入するなど、待遇が大きく改善しました。

薬剤師は業務実績によりクラス分けされ、給与規定と結び付いています。クラスアップを目指すことが薬剤師としての実力向上につながるだけでなく、努力した人ほど昇給が見込める仕組みとなっています。

また、育児や介護など家庭での役割を大切にしたり、趣味や学習などのプライベートを充実させられるように、働きやすい環境を整えています。

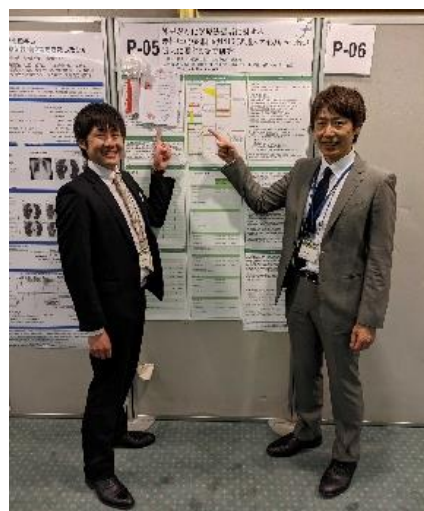
- ・子育て世代の宿直業務の免除
- ・定時帰宅の保障
- ・結婚時の特別休暇
- ・女性の産前産後休暇取得率 100%
- ・男性の育休取得率 66%
- ・介護休暇

学術活動

当院薬剤師は学会発表や参加、論文作成など積極的に学術活動を行っています。
学会参加時の**交通費・宿泊費は出張費として支給**され、**振替休日**も付与されます。

発表・参加した主な学会

日本医療薬学会	日本化学療法学会
日本感染症学会	日本癌治療学会
日本緩和医療薬学会	日本臨床腫瘍学会
日本臨床腫瘍薬学会	
日本病院薬剤師会東北ブロック	など



認定・専門

当院在籍の認定・専門薬剤師等

がん指導薬剤師
外来がん治療専門薬剤師
がん薬物療法認定薬剤師
感染制御認定薬剤師
抗菌化学療法認定薬剤師
精神科薬物療法認定薬剤師
緩和薬物療法認定薬剤師
日病薬病院薬学認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本リウマチ財団登録薬剤師
NST専門療法士
糖尿病療養指導士
パーキンソン病療養指導士
スポーツファーマシスト

当院薬剤部には、薬剤師が認定・専門取得をチャレンジしやすい強みや環境があります。

- ・総合病院であるため、様々な症例を経験できる
- ・単位取得のための講習会参加を推奨
- ・経験談を伝えるなど先輩が手厚くサポート

現在は、**妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師**などを目指して、若手薬剤師が研鑽を積んでいます。

専門的な **がん研修施設** に認定

当院は様々な研修施設として認定されており、がんに関する専門的な研修を提供できる病院となっています。当院で所定年数の実務経験を積むことで、認定・専門薬剤師認定試験の受験資格を得ることができます。

日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
日本臨床腫瘍薬学会（JASPO）がん診療病院連携研修病院研修施設

実務期間

3年

5年

5年

得られる受験資格

がん薬物療法認定薬剤師
認定試験

がん専門薬剤師
認定試験

外来がん治療専門薬剤師
認定試験

専門領域で描く未来

様々な専門領域で、どのように業務を発展させ、どんな未来を描くのか。今後の展望を紹介します。

感染制御

新たな感染症、薬剤耐性菌への対応が急務となっている中、薬剤師がICT（感染制御チーム）、AST（抗菌薬適正使用チーム）で専門領域の力を発揮するための人材育成に力を入れています。

緩和ケア

身体的、精神心理的、社会的、スピリチュアルな痛みが複雑に絡み合い、私たちはそれを痛みと表現します。その痛みを和らげ、その人らしく最期まで生きるため、一緒に様々なことに挑戦してみませんか？

化学療法

PBPM、薬剤師外来、スマホアプリ等の活用を通じ、適切な治療選択や副作用対策に貢献してきました。医師からのタスクシフトをさらに進め、薬剤師による化学療法のトータルマネジメントを実現します。

精神科

精神疾患を持つ患者さんの薬物治療の介入はもちろんのこと、多職種と連携し社会復帰へサポートを行います。今後はリエゾンチームに同行し、薬学的観点からサポートしていきたいと考えています。

妊婦・授乳婦

妊婦授乳婦薬物療法認定取得後は、入院患者への服薬指導や質問対応だけでなく、産科外来でカウンセリングの場も設けられればと考えています。妊婦授乳婦の方々の不安に寄り添い、知識を生かしたより深い介入を行ってまいります。

糖尿病

入院中や外来での継続的な介入を通して、患者さん自身が血糖をマネジメントできるよう支援していきます。日本糖尿病療養指導士および糖尿病薬物療法認定薬剤師の取得を希望されている方へは、書類作成や症例収集など全面的にサポートします。

研修

3年間のスーパーローテーション

日病薬病院薬学認定薬剤師

Level up!

GOAL

ECAM
チーム配属
ショートローテ

薬剤師としての基礎を学びながら、チームの一員としてスキルアップを目指す

病態と薬理
ロングローテ

月ごとに各診療科を研修し、幅広い知識の習得や経験を得る

専門領域への準備
おかわりローテ

学びたい診療科を重点的に研修し、知識の補完や専門性を高める

初期

中期

後期

病院薬剤師としての知識や技能、態度を習得することを目標とし、分野ごとに担当者を分けて指導を行います。ローテーションで各部署の業務を研修し、ジェネラリスト育成を目指します。また、**3年で日病薬病院薬学認定薬剤師を取得**できるようサポートしています。

ECAM

ECAMとはEmpathy（共感）、Communication（コミュニケーション）、Assertiveness（想いを表現できる）、Medical Literacy（情報の収集/理解/吟味/適用）のことです。新人教育にECAMモデルを取り入れており、この4要素をどのように用いて患者に寄り添っていくかを学びます。

チーム配属

3カ月間の基礎研修を終えた後、7月をめぐに新人の配属先を決めます。**希望を100%優先**させているため、自身の希望する診療科・分野の担当に必ずなることができます。そのため、どのような薬剤師になりたいかなど、将来のキャリア形成を視野に入れて日々業務に励むことができます。

病棟業務

生活習慣病、消化器・呼吸器・循環器・精神疾患、感染制御、妊婦・授乳婦、小児科、NICU、がん化学療法など様々な領域に関わり業務を行います。研修では多分野の認定薬剤師から幅広い薬学的知識を学ぶことができます。また、興味のある分野の認定・専門薬剤師の資格取得を目指すことができます。

日直・宿直

休診日の日直と、毎日の宿直を行っています。**宿直は16時20分から深夜0時まで**で、0時以降は仮眠可能です。仮眠時間帯は薬品払い出しがある場合のみ対応し、**翌朝8時50分で終了**です。夜間救急外来の処方箋は24時間体制で近隣の調剤薬局が対応するため、**救急外来の処方調剤業務はありません**。

外来がん化学療法・緩和ケア

薬剤師外来やPBPM、患者アプリ等を活用しながら、がん化学療法のレジメン提案、副作用対策、疼痛評価およびコントロールについて実践的に学びます。他の研修で学んだスキルも活かし、実際のがん患者にどう寄り添うか真剣に考えながら研修期間を過ごします。

初期研修の薬剤師の1日

病棟業務の研修

朝礼	8:20
処方監査	8:30
面談患者の情報収集 (カルテ)	9:00
初回面談・退院指導 薬剤管理指導	10:00
昼休憩	12:30
持参薬鑑定 内服・注射調剤の検閲	13:30
調剤室の掃除 振り返り	16:00
日勤業務終了	17:00

緑川 琴乃

2024年入職

奥羽大学卒



患者と直接話すことで、
薬物治療の効果の確認や
副作用の早期発見につな
げることができました。

論文を提示し、抗がん剤
の投与量変更を提案でき
ました。

外来化学療法の研修

朝礼	8:00
患者情報の最終確認 (カルテ・医療用アプリ)	8:15
薬剤師外来	8:30
血液検査の確認	10:00
薬剤管理指導	11:00
昼休憩	12:00
SOAP入力	13:00
抗がん剤の処方監査・検閲	14:00
次回担当患者の予習	15:00
振り返り	16:00
日勤業務終了	16:40

プリセプター・メンター制度

新人教育は薬剤部全体で関わっていきますが、4～5年目がプリセプターとなって業務修得をサポートします。常にマンツーマンでの指導体制が整っており、理解が十分でない分野など定期的に習得度を確認し合います。また、2～3年目がメンターとなり、精神的なサポートを行います。



1年目薬剤師の声

慣れない環境の中でも、メンターやプリセプターがいてくれたおかげで、質問や相談ができる相手が明確であるという安心感がありました。私生活での悩みにも寄り添ってくれるので、メンターと話すことでちょっとした気分転換にもなっています。

業務内容

1 病棟業務

患者さんが入院後、服用していたお薬の確認や評価、副作用歴・アレルギー歴などの情報を収集します。全ての医薬品の使用状況を確認し、適切に使用されているか評価を行ったうえで、医師・看護師への医薬品の情報提供、医師への処方提案や検討、患者さんへのお薬の説明などを行います。

回診への同行、各病棟やNST（栄養サポートチーム）などのカンファレンスへの参加、糖尿病教室の開催、感染制御チーム・抗菌薬適正使用支援チームや緩和ケアチームへの参加など、多職種と連携して入院患者への薬物療法をサポートしています。

病棟業務を行う薬剤師は、生活習慣病、消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、精神疾患、感染制御、妊婦・授乳婦、小児科、NICU、がん化学療法など様々な領域に関わっています。認定・専門資格を持っている薬剤師も多数おり、薬学的知識を生かして活躍しています。



2 入院支援センター

入院予定の患者さんに薬剤師が介入し、OTCやサプリメントを含めた常用薬の確認を行っています。手術予定の患者さんにおいては、術前に休止が必要な薬剤の有無や服用状況を確認し、手術が延期される事態を未然に防ぐ取り組みを行っています。

入院支援センターでの薬剤師による介入が始まってから、休薬漏れによる手術延期が発生しなくなったと高く評価されています。

3 チーム医療

精神科領域、NST、緩和ケア等のカンファレンスや地域包括ケア会議への参加、糖尿病教育の実施、病棟スタッフや管理栄養士との意見交換など、様々な場面で多職種と連携してチーム医療に貢献しています。薬剤師が中心となって発足したがん悪液質対策専門チーム「チームアナモレリン」もその1つです。

■がん悪液質対策

がん悪液質は、体重減少や食欲不振、それらに伴うQOL（生活の質）の低下だけでなく、化学療法の効果の減弱、副作用や治療中断の増加、さらには生存率にまで影響を及ぼすとされます。多職種で専門性を活かした介入を行うことで、化学療法の継続や負担の軽減、QOLの低下予防をサポートしています。



業務内容

4

外来化学療法・薬剤師外来

治療歴や抗がん剤の処方箋に基づき投与量、投与時間、支持療法薬、検査値のオーダーを確認し、必要に応じて医師とレジメンの内容や投与量の確認や検討を行います。

患者さんとの面談（薬剤師外来）を通して抗がん剤のお薬の説明や評価、副作用の対策薬の処方提案を積極的に行っています。また、スマートフォンの医療用アプリを利用した患者モニタリングや、24時間365日対応の化学療法ホットラインなどで、病院から出たあとの患者さんのサポートも行っています。



■薬剤師外来

薬剤師は医師の診察前に面談を行っています。医療用アプリを活用し、患者さんから聴取した情報や疑われる副作用、処方提案などを医師への情報提供シートに記載します。また、PBPMに従って診察前に処方を代行入力することで、医師のタスクシフト・シェアに貢献しています。

■PBPM

薬剤師が医師と事前に作成・合意されたプロトコルに基づき実施する薬物治療管理のことです。当院ではがん化学療法患者を中心に活用しており、早期の副作用対策、医師の負担軽減等、一定の成果を挙げています。



5

フィジカルアセスメント

聴診器、簡易心電図、医療用ペンライト、パルスオキシメーターなどを使用してフィジカルアセスメントを行うことで、副作用の確認や処方提案の検討を行っています。

- ・聴診器を使用したイレウスのチェックや下剤の検討、間質性肺炎の徴候や胸水の確認
- ・簡易心電図計を使用した心疾患の有無の確認
- ・医療用ペンライトを使用したオピオイドの適正使用量の確認

6

実務実習生への教育

当院では積極的に薬学部実習生を受け入れています。実習では、調剤や医薬品管理、化学療法、病棟・外来薬剤管理指導業務など多くの分野を経験することができます。

■当院での実務実習生の症例発表例

- 『免疫チェックポイント阻害薬使用における甲状腺機能低下症の早期発見と治療』
- 『治療開始前に骨髄抑制を伴った進行膵癌の一例』
- 『通院自己中断歴のある2型糖尿病患者の治療継続に介入した一例』
- 『化学療法継続のための口内炎予防及び治療』

業務内容



7 内服・注射調剤

内服薬は、用法・用量、相互作用や重複投与などがないかを確認して調剤を行います。安全・迅速にお薬をお渡しするために、調剤機器を使用するだけではなく、1つの処方箋を複数の薬剤師でチェックしています。

注射薬は、投与量、投与期間、配合変化、ルートなどを確認します。注射薬自動払出装置や計数調剤管理システムを使用し、患者さんごとに1日分の注射薬をセットして病棟に払い出しています。

調剤業務では、調剤助手（ファーマクルー）に補助してもらうことで薬剤師の労力を最小限にしています。そのため、薬剤師は処方箋の確認に集中することができます。

8 注射薬混合

抗がん剤の調製では、職業被曝を防ぐために安全キャビネットクラスⅡタイプB2やCSTD（閉鎖式薬品移送システム）を使用しています。注射薬混注監査システムを用いて調製ミスがないかを確認し、複数の薬剤師で確認することで安全性を確保しています。

入院や在宅で使用されるTPN（中心静脈栄養法）の調製は、クリーンベンチを用いて行っています。

9 院内製剤調製

院内製剤は、多様かつ個別の医療ニーズに対応するために、医療法のもと医療機関の責任下で調製されている製剤です。当院でも安全安心かつ適切に調製することで、患者さんの治療に貢献しています。

10 医薬品情報管理

医薬品情報は医薬品の使用だけでなく、開発、製造のあらゆる過程において存在しています。多種多様な医薬品情報の収集、評価、提供、管理を行い、病院全体で薬剤が適正に使用されるための体制構築や教育など司令塔のような役割を担っています。

11 薬薬連携

地域の保険調剤薬局の薬剤師と病院薬剤師の連携を『薬薬連携』と呼んでいます。会津地域において、当院を事務局として「会津薬薬連携協議会」を発足し、地域包括ケアの推進に向けた様々な取り組みを行っています。



■会津お薬手帳

会津地域統一のお薬手帳です。従来のお薬手帳とは異なり、病名・検査値・調剤方法・残薬・注射・疑義照会等を記載するページを設けることで、医師はもちろん、患者さんが見ても分かりやすい手帳となっています。

12 治験

治験とは、「薬の候補」を用いて国の承認を得るために行う試験です。患者さんが安心して治験に参加できるように治験コーディネーター（CRC）として参加しています。

ファーマクルー

ファーマクルーが担う業務

調剤クルー

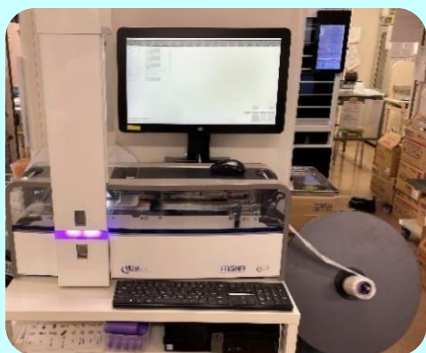
計数調剤補助
持参薬カウント・入力
再調剤
返品薬の仕分け・入力
返品薬再利用の補充
在庫管理・発注
製剤室補助
入院支援センター補助

注射クルー

注射調剤補助
注射薬払い出し
在庫管理・発注・検品
手術室薬品カートの補充

ケモクルー

抗がん剤調整補助
在庫管理
外来化学療法への受付
ミキシングルーム内での補助
医療用アプリの補助
資料作成・統計業務



▲ MDM

一包装された薬剤の内容を自動的にチェックする機械で、問題箇所のみ知らせてくれる仕組みです。検閲業務の負担軽減と、調剤過誤リスクの低減に寄与しています。

当院では調剤助手（ファーマクルー）を多数採用し、調剤や病棟、がん化学療法など様々な業務をサポートしてもらっています。そのため、**薬剤師でなければできない業務に専念**でき、より多くの時間を臨床に費やすことができます。

また、自動錠剤分包機や錠剤一包装化鑑査支援システム（MDM）、注射薬自動払出装置（アンブルピッカー）などの調剤補助システムを複数導入し、業務の効率化を図っています。

▶ アンブルピッカー



▶ 一包装業務の補助



▶



◀ 最終鑑査支援システムで照合



◀ 注射薬カートにセット



先輩の声



成田 浩気 2018年入職 星薬科大学卒

外来がん化学療法チームに所属し、外来で化学療法を施行する患者さんに対してがんの治療だけでなく、今まで通りの生活が不安なく送れるようにサポートをしています。緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得したため、それを生かして業務を行っていきたいと考えています。学会参加など認定取得に必要な支援体制もしっかりしているので、認定取得を目指している方はぜひ一緒に働きましょう。

河原 史明 2012年入職 星薬科大学卒

がん薬物療法認定薬剤師として外来化学療法の業務を中心に行っています。当院は薬剤師数が特に多くはありませんが、たくさんの非薬剤師スタッフに支えられ、薬剤師としての職能を活かせる業務に専念できる環境が心地よく、県外出身ですが10年以上勤務しています。医師や看護師、管理栄養士、理学療法士、公認心理師等との協力関係も良好で、先進的な取り組みの中で患者の薬物療法に貢献できているという実感に満ちた日々を送っています。



金子 美知子 2008年入職 東北薬科大学卒

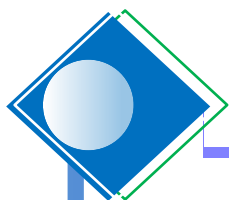
入職して17年経ちますが、育休を3回取得しています。現在は主にDI室で問い合わせの対応やDIニュースの作成等を行っており、臨床治験委員会にも参加しています。育児と仕事を両立させるのは大変なときもありますが、子供から教えられることはたくさんあり、薬剤師としていろいろな経験を積める環境は充実しています。

大堀 徹 1984年入職 明治薬科大学卒

感染防止対策を行うICT（感染制御チーム）とAST（抗菌薬適正使用支援チーム）に薬剤師として所属し、感染防止対策と抗菌薬適正使用に携わり、感染防止対策、患者予後の改善に貢献しています。今、薬剤師の感染症と抗菌薬に関する知識が臨床の現場で求められています。まさに薬剤師の職能が直接発揮される場所です。



支援制度



修学資金貸与制度

大学の薬学部生を対象に、月々修学資金を貸与して経済的に援助する制度

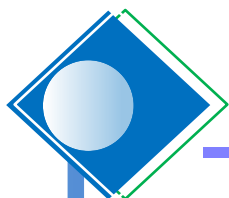
■貸与額：10万円／月

■対象者：大学の薬学を履修する課程に在学し（1年生時から可）、将来、当財団で薬剤師として勤務することを誓約する方

大学卒業後1年以内に薬剤師免許を取得し、貸与期間の1.5倍に相当する期間、当財団で薬剤師として勤務すれば、全額を返還免除とします。

※本制度は、将来の当財団への採用を保証する制度ではありません。
貸与が決定した方も、卒業年度には採用試験を受けていただきます。

修学資金貸与制度 ホームページ



奨学金返済補助制度

奨学金を借りている薬剤師を対象に、月々補助手当を貸与する制度

■貸与額：9万円／月、108万円／年（支給は年単位、最大5年間）

■対象者：当財団で勤務する薬剤師

貸与年数の2倍に相当する期間、当財団で薬剤師として勤務すれば、全額を返還免除とします。

例）奨学金の返済残額が300万円の場合

1年間の支給額は、月額9万円×12カ月＝108万円です。
300万円÷108万円≒2.7年となり、1年未満を切り上げるため、
最大受給年数は3年間となります。
3年間受給する場合、6年間勤務すれば全額が返還免除となります。

法人事務局 お問い合わせ先



病院見学&インターン

当院薬剤部では、病院見学やインターンシップを随時募集しております。
遠方でも交通費は当財団が負担しますので、お気軽にお問い合わせください。

日時

希望日に合わせて随時開催

※時間もご相談ください

交通費支給あり（遠方でも全額補助）

内容

病院概要や待遇説明

薬剤部の概要説明

院内・薬剤部を見学 など

申込方法

メール、電話にて受付

見学会タイムスケジュール例

11:00	病院概要など説明
}	院内見学
11:45	昼食会
13:00	支援制度の説明
}	薬剤部の概要説明
	薬剤部見学
15:30	終了予定

※インターンシップの日程・日数・内容は相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください

■ お問い合わせ お申し込み ■

一般財団法人竹田健康財団 法人事務局 人材開発課

TEL 0242-29-9893

FAX 0242-27-5670

E-mail jinji@takeda.or.jp



◀募集要項ページ
見学・インターン
シップは、施設見
学の見学申込から
ご応募ください

アクセス



列車でお越しの方			
東京駅	東北新幹線 所要時間 約80分	郡山駅	会津若松駅 バス(市内2コース 約15分) タクシー(約10分)
仙台駅	東北新幹線 所要時間 約40分	磐越西線 所要時間 約60分	
お車でお越しの方			
川口JCT	東北自動車道 所要時間 約150分	郡山JCT	磐越自動車道 所要時間 約45分
仙台宮城IC	東北自動車道 所要時間 約90分	いわきJCT	磐越自動車道 所要時間 約100分
三郷JCT	常磐自動車道 所要時間 約120分	会津若松IC	
新潟中央IC	磐越自動車道 所要時間 約90分	会津若松IC	
高速バスでお越しの方			
新宿駅新南口	会津若松駅前 所要時間 約270分	バス(市内2コース 約15分) タクシー(約10分)	竹田綜合病院
仙台駅東口	所要時間 約150分	鶴ヶ城・合 同庁舎前	竹田綜合病院
新潟駅前	所要時間 約110分	徒歩5分	
いわき駅前	所要時間 約90分	郡山駅前	所要時間 約70分
福島駅前	所要時間 約80分	鶴ヶ城・合 同庁舎前	徒歩5分

一般財団法人 竹田健康財団 **竹田綜合病院**

〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町3番27号

TEL : 0242-27-5511

E-mail : kouhou@takeda.or.jp



病院HP



薬剤部HP



会津

歴史と文化のまち
四季に彩られて



福島県西部にある会津地方は四方を山に囲まれており、夏は蒸し暑く、冬は雪が降る盆地特有の気候を有しています。猪苗代湖や五色沼、磐梯山など自然豊かで、四季の移ろいを感じることができます。

鶴ヶ城を代表とする城下町で、東山温泉などの温泉街があり、会津漆器や赤べこ、絵ろくそくなどの伝統や文化が息づいています。

肥沃な大地や豊かな水に恵まれ、おいしいお米やお酒などの農作物・名産品が多く、喜多方ラーメン、ソースカツ丼、馬刺しなどの食文化を堪能できます。

会津若松市内には大型ショッピングセンターやスーパー、ドラッグストア、コンビニなどが多数あり、利便性の高い地方都市です。

内 用 薬

薬 学 生 の 皆 様

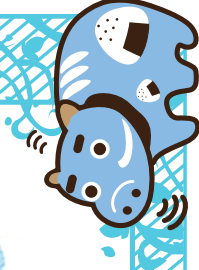
No.

Mission

患者のために

私たち自身のために

そして私たちの生活のために



外 用 薬

薬 学 生 の 皆 様

No.

Vision



私たちは、患者の**医療への援助**を
最優先に考え、個々のスキルアップを
通じて専門性を高め、

ライフワークバランスを保つことで、
私たち一人ひとりが最高のパフォーマンスを
発揮できる環境を創り出します。

